

令和3年度 さいたま市立柏陽中学校 学校関係者評価書

さいたま市立柏陽中学校
学校関係者評価委員長

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 15人
- (2) 実施回数 3回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

○第1回委員会

- ・前年度の成果と課題を受けての、令和3年度の学校教育目標・教育全体計画を基に、学校経営方針や重点指導目標、教員の授業力の向上、部活動の活動の方針や様々な取組計画が報告された。柏陽中学校いじめ防止基本方針の説明を受けた。

○第2回委員会

- ・次年度から本格的に実施される学校運営協議会についての概要説明を受けた。
- ・本校が抱えている課題と課題克服のための今後の見通しについて学校として説明を受けた。
- ・学校運営協議会の実施に向けて「柏陽中学校の生徒つけさせたい力、地域として育てたい生徒像について熟議を行った。

○第3回委員会

- ・1年間の柏陽中学校の教育活動（学習指導、生徒指導、学校行事、小・中一貫教育）についての報告を受けた。生活面では、引き続き、落ち着いた学校生活が送れていることが確認できた。生徒指導面では、教育相談における配慮を要する生徒への指導を適切に行い、生徒に寄り添ったきめ細やかな指導の更なる継続を希望する。また、コロナ渦で変則的な授業など制約が多い環境の中でも生徒たちはしっかりと学校生活を送っていると感じた。今後も学校には生徒や保護者に寄り添いながらきめの細かい指導を希望する。いじめについても報告も適切に対応し、解消していることが確認できた。
- ・基礎学力の定着の取組についてはコンピュータを活用した学習活動が行われているとの報告を受けた。個々の理解力に合わせた学習活動を期待したい。
- ・学校評価（生徒・保護者）についての報告がなされた。生徒の評価は、生活面での多くの質問項目において、肯定的な回答をした生徒の割合が80%を超えている報告を受け、生徒は、充実した学校生活を送っていることを確認した。
- ・学校運営協議会では一層 学校 家庭 地域の連携を強めていく必要があると感じた。

学校関係者評価を受けた学校の対応

1 学習に関する事項

- ・小学校と連携しながら基礎基本の確実な定着を目指した学習習慣の確立を目指したい。
- ・生徒が自ら学びに向かうための指導法を研究する（主体的・対話的で深い学び）
- ・新しい時代に対応できる学力をつける教育を目指す。（ICT 機器を活用した学校・家庭での学習）

2 生徒指導・教育相談に関する事項

引き続き、心と生活のアンケート、教師の観察等を通し、生徒の状況をよく把握し、家庭、地域、関係諸機関と連携し、迅速、誠実、アフターケアの姿勢をもち、組織的に課題に取り組んでいく。
今後とも教職員一同、生徒に寄り添い、生徒が充実した学校生活を送れるよう、教職員一同取り組んでいく。

さいたま市立柏陽中学校長 渡 邊 哲 哉 印